

山と高山蝶の生態研究に情熱を傾けた山岳写真家

田淵 行男 (たぶち ゆきお) 豊科 見岳町 (出身・鳥取県)

＜田淵行男が活躍した時代＞ 1905 (明治 38) 年～1989 (平成 1) 年 5 月 享年 83 歳

明治	大正	昭和										平成		
		38	13	3~16	16~20	20	21	34	36	51	59	1	2	
鳥取県黒坂村で生まれる	東京高等師範学校博物科入学	校の教諭を務める。	・富山県射水中、東京府立第二高等女学校、同女子師範学校、独協中学校の教諭を務める。	・日本映画社教育映画部勤務	・穂高牧に疎開し、高山蝶の生態研究に入る。	・常念岳乗鞍で、高山蝶タカネヒカゲの幼虫を発見する。以来、生態の研究に没頭し、その解明に成功する。	・山麓のアシナガバチ・ギフチョウ・ヒメギフチョウの生態研究を始める。	・数百回に及ぶ北アルプスの踏査により、著書『高山蝶』を出版する。	・評家協会特別賞を受賞する。	・豊科見岳町に転居する。日本写真批評家協会特別賞を受賞する。	・環境庁長官より自然保護思想普及功労賞を受賞する。	・豊科町名誉町民となる。	・八十三歳で永眠する。	・豊科重柳に田淵行男記念館が建つ。

安曇野の美しさに惹かれ魅力を写真で広めた山岳写真家。著作36点。



私は、山の写真は、結局 山との闘いであると思う。山で苦しめば苦しむ程手痛い目に遭えば遭う程、その観照は磨かれ、作品は強さを増すと信ずる。私は命懸けで山と取り組んだ。(『わが山旅』より)

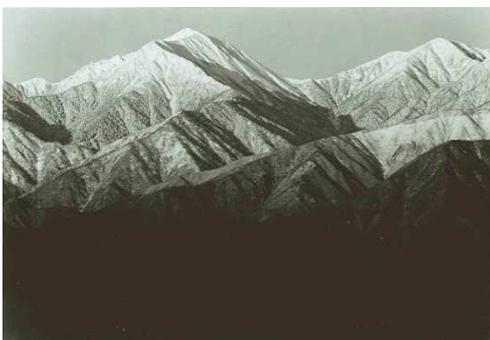
安曇野市名誉市民第1号！
(昭和59年豊科町名誉町民) ※現4名
安曇野の魅力を全国に広めたのは、白井吉見の文学『安曇野』、征矢野久の絵画、そして田淵行男の写真！とされています。安曇野の原風景がそこにあります。

田淵行男記念館 安曇野市豊科南穂高5078-2

休館月曜 午前9時～午後5時 高校生以上300円 TEL0263-72-9964

田淵行男が撮影したフィルムやガラス乾板などの原板約72,000点や生前に発行した著作36冊、撮影機材や登山用品などをもとに、様々なテーマの企画展を開催しています。ぜひ記念館を訪れて、田淵行男の世界を味わってください。

田淵行男の作品の一部を特別に紹介します！



↑＜写真 新雪の常念＞



←＜写真 安曇野早春＞
1975年



↑＜細密画 ヒメギフチョウ＞
1947年9月10日



↑＜写真 オオイチモンジ羽化＞
1950～1958年

参考文献等：『安曇野 田淵行男写真文集』田淵行男 1976 朝日新聞社 『安曇野挽歌』田淵行男 1982 朝日新聞社

『山は魔術師—私の山岳写真—』田淵行男 1995 実業之日本社 ※田淵行男の顔写真は水越武撮影

HP「安曇野市ゆかりの先人たち」「田淵行男記念館」「安曇野市ホームページ」